

彩の国大会 当日句入選作品一覧

落合水尾 選

特選

氷川の森ねんりんピック秋高し 埼玉県 長澤一枝

入選

武蔵野の名残りの落葉踏んでをり さいたま市 増田信雄

眼が合ひて領きかへす芒原 埼玉県 中野博夫

秋短か着ずにしまひし服多し 埼玉県 森田奏子

兎の進む歩幅に合はせ七五三 埼玉県 青柏

朔日の一之宮より七五三 埼玉県 坂本和加子

初鴨のいう浮寝日和かな 埼玉県 金子美津子

言の葉を綴るごとくに式部の実 さいたま市 金井裕子

秋惜しむ百万都市に紛れ込み 埼玉県 高林雅子

参道にこゑちりばめて小鳥来る 群馬県 武井禎子

堀之内長一 選

特選

秋高し花束のごと稚抱き 埼玉県 須田真弓

入選

二の鳥居くぐりひときは秋気澄む 埼玉県 渡辺智恵

神無月のフィールドノートに蛇の池 埼玉県 鳥山由貴子

幌開けし双子のバギー小六月 さいたま市 佐藤慶夫

皆ちがふ砂利踏む音や七五三 埼玉県 太田中央

毛糸売る十一月の高島屋 埼玉県 前北かおる

翔ぶものを時折放ち山眠る 埼玉県 黒澤あき緒

落葉径 coming soonの貼り紙や 埼玉県 藤玲人

ランナーの鳥居にぺこり秋澄めり さいたま市 早坂喜熊

団子屋のきしめんが好き秋うらら さいたま市 鈴木八重子

岡安紀元 選

特選

池に浮く紅葉一枚ほどの咎

埼玉県 田中朋子

入選

銀漢やもう引き返すことできぬ

埼玉県 稲田眸子

朝影をつかみしままや櫨紅葉

さいたま市 後藤光風

晴れ着の児晴れ着におんぶ千歳飴

茨城県 新井久子

来し方は年輪に在り銀杏散る

さいたま市 平野楽

参道に巨石ごろごろ秋日和

埼玉県 井上琴吹

秋惜しむ百万都市に紛れ込み

埼玉県 高林雅子

その奥の水の明るき暮の秋

東京都 田丸千種

団子屋のきしめんが好き秋うらら

さいたま市 鈴木八重子

正一位稻荷明神木の実落つ

埼玉県 古橋淑子

石田郷子 選

特選

秋高し花束のごと稚抱き

埼玉県 須田真弓

入選

あとずさりながら整える晩秋

埼玉県 杉本青三郎

武蔵野の名残りの落葉踏んでをり

さいたま市 増田信雄

こぼれ萩こぼれ萩巫女こちら向く

埼玉県 越川ミトミ

幌開けし双子のバギー小六月

さいたま市 佐藤慶夫

落葉踏む学徒の頃に住みし地に

横浜市 松永朔風

参道を戻り来る人秋深し

さいたま市 我ふたり

祈りへの長き参道深もみじ

神奈川県 赤崎冬生

その奥の水の明るき暮の秋

東京都 田丸千種

わが影と十一月の石畳

埼玉県 村社昌子

稲田眸子 選

特選

千年の社に集ふ七五三

さいたま市 石田清秀

入選

武蔵野の名残りの落葉踏んでをり

さいたま市 増田信雄

皆ちがふ砂利踏む音や七五三

埼玉県 太田中央

翔ぶものを時折放ち山眠る

埼玉県 黒澤あき緒

参道に巨石ごろごろ秋日和

埼玉県 井上琴吹

枯れ忙ぐことはないのよ杜の樹々

埼玉県 早乙女文子

風あらば風の調べや小鳥来る

埼玉県 小山八寿子

先頭は双子のバギー七五三

東京都 久

秋高し未来へ漕ぎ行く三輪車

埼玉県 新田雄悦

七五三祝玉砂利の音は空へ空へ

東京都 島村典子

田中朋子 選

特選

直角に折れて秋の陽能舞台

さいたま市 水心子

入選

あとずさりながら整える晩秋

埼玉県 杉本青三郎

行く秋の影呼び戻す蛇の池

埼玉県 渡邊樹音

萩の花記憶はらはらはらはらす

東京都 田中信克

まだ神が帰ったばかり幣の揺れ

埼玉県 山崎十生

鳥渡る三三五五という自由

さいたま市 堀之内長一

晩秋の橋渡りくる頭陀袋

埼玉県 あゆか

ランナーの足音紅葉且つ散りぬ

埼玉県 江口あをね

秋高し花束のごと稚抱き

埼玉県 須田真弓

その奥の水の明るき暮の秋

東京都 田丸千種

前北かおる 選

特選

秋高し花束のごと稚抱き

埼玉県

須田真弓

入選

凝りたる松の樹液も冬隣

さいたま市

山下由理子

花びらを払う筆先菊花展

埼玉県

鈴木砂紅

まだ神が帰ったばかり幣の揺れ

埼玉県

山崎十生

幌開けし双子のバギー小六月

さいたま市

佐藤慶夫

参道を戻り来る人秋深し

さいたま市

我ふたり

団子屋のきしめんが好き秋うらら

さいたま市

鈴木八重子

宮参り秋の黄蝶に導かれ

埼玉県

滝本史代

やみあがりひとなみにあきたけなわや

さいたま市

松岡祥子

玉砂利の音の濁りや秋湿り

さいたま市

石川晴

渡辺光子 選

特選

武蔵野の名残りの落葉踏んでをり

さいたま市 増田信雄

入選

凝りたる松の樹液も冬隣

さいたま市

山下由理子

うぶすなの宮に湧く水冬隣

さいたま市

鵜飼克枝

広前の審査待ちたる菊の花

さいたま市

池澤はるを

朔日の一之宮より七五三

埼玉県

坂本和加子

翔ぶものを時折放ち山眠る

埼玉県

黒澤あき緒

参道に巨石ごろごろ秋日和

埼玉県

井上琴吹

秋高し花束のごと稚抱き

埼玉県

須田真弓

参道にこゑちりばめて小鳥来る

群馬県

武井禎子

その奥の水の明るき暮の秋

東京都

田丸千種

小林筑山 選

特選

毛糸売る十一月の高島屋

埼玉県 前北かおる

入選

うぶすなの宮に湧く水冬隣

さいたま市 鵜飼克枝

花びらを払う筆先菊花展

埼玉県 鈴木砂紅

晴れ着の児晴れ着におんぶ千歳飴

茨城県 新井久子

冬浅し亀並びゐる神の池

さいたま市 天野清志

冬ぬくし宮も商ふ蔵茶房

さいたま市 笹岡久絵

日だまりの猫の背中に時とまる

東京都 蓮見陽一朗

かさこそと氷川の杜の秋深し

埼玉県 江原正子

秋日和社殿の鈴の音まろく

埼玉県 吉井康廣

氷川社の柏手高き神迎

さいたま市 青山栄峯

北村あゆか 選

特選

冬隣参道浄き一の宮

埼玉県 服部敏子

入選

二の鳥居色なき風の湖底かな

さいたま市 宮澤順子

秋晴の大きな鳥居あふぎたり

埼玉県 宮崎淳

秋惜しむ拝殿奥の八雲紋

さいたま市 竹田正明

直角に折れて秋の陽能舞台

さいたま市 水心子

参道の風の道あり竹の春

埼玉県 鈴木規子

千年の社に集ふ七五三

さいたま市 石田清秀

祈りへの長き参道深もみじ

神奈川県 赤崎冬生

わが影と十一月の石畳

埼玉県 村社昌子

参道にこゑちりばめて小鳥来る

群馬県 武井禎子

井上琴吹 選

特選

まだ神が帰ったばかり幣の揺れ

埼玉県

山崎十生

入選

武蔵野の名残りの落葉踏んでをり

さいたま市

増田信雄

柏手の四つ揃ひて七五三

さいたま市

板倉ひろみ

うぶすなの宮に湧く水冬隣

さいたま市

鵜飼克枝

朝影をつかみしままや櫛紅葉

さいたま市

後藤光風

花びらを払う筆先菊花展

埼玉県

鈴木砂紅

氷川杜秋色もつともつと欲し

さいたま市

齋藤祐子

鳥居抜け子規を偲びし薄かな

さいたま市

池嶋久春

七五三ぐづる子と座す緋毛氈

埼玉県

石黒志ほ

顚顚にキラキラシール七五三

埼玉県

池田晴江

渡邊樹音 選

特選

まだ神が帰ったばかり幣の揺れ

埼玉県

山崎十生

入選

あとずさりながら整える晩秋

埼玉県

杉本青三郎

色変へぬ松社務所から国訛り

さいたま市

鵜飼広計

こぼれ萩こぼれ萩巫女こちら向く

埼玉県

越川ミトミ

皆ちがふ砂利踏む音や七五三

埼玉県

太田中央

朔日の一之宮より七五三

埼玉県

坂本和加子

美意識を植えつけられた木の葉だな

埼玉県

浅野都

参道にこゑちりばめて小鳥来る

群馬県

武井禎子

縦横無尽十一月一日の古櫓

さいたま市

矢崎直人

玉砂利の音の濁りや秋湿り

さいたま市

石川晴